

[TOP page](#)

資料室

[イベント情報](#)
[講師を探す](#)
[Worker's 広場](#)
[関連リンク](#)

## 資料室


[HOME](#) | [資料室](#) | [一般教養](#) | [傾聴](#) | [傾聴のすゝめ \(その1\)](#)
[労働組合](#)
[労働者福祉・共済](#)
[一般教養](#)
[社会保障](#)
[労使トラブル法律相談Q&A](#)
[労働関係法](#)
[経営全般](#)
[人間関係とコミュニケーション](#)
[ライフプラン](#)
[男女共同参画](#)
[公務員関係法](#)
[日朝の歴史](#)
[7つの習慣](#)
[中東の歴史](#)
[ボランティア活動](#)
[環境活動](#)
[社会貢献活動](#)
[自己啓発](#)
[生涯学習](#)
[外交・防衛問題](#)
[資本論](#)
[教育カリキュラム](#)
[日本国憲法](#)

### 傾聴のすゝめ (その1)

傾聴とは何か？

「聴いてもらう」ことの意味とは？  
なぜ「聴く」ことが大切なのか？

「訊く」と「聞く」と「聴く」の違い。

「訊く」とは、尋ねる、自分の知りたいことを訊く、自分の興味で相手の話を訊く。

「聞く」とは、音声として聞く、聞き流す。

「聴く」とは、心を込めて相手の身になって聴く。  
相手の話を否定したり、批判することなく聴く。

私たちは日常生活の中で「訊く」とか「聞く」はよく使っているが、「聴く」ことはなかなか無い。  
みなさん自身も、心を込めてあなたの身になって聴いてもらった体験がどれほどあるだろうか。

自分の話を否定されたり、批判されずに聴いてもらうことは、（自分でも否定している）自分自身の存在を「肯定される」ことであり、自分は他人に耳を傾けてもらえる「価値がある」存在であると感じられることにつながる。

「聴く」という漢字は、「十四の心の耳」と書く。  
それほど「聴く」という行為にはエネルギーが必要である。  
十四の心とは何か。

諸説あるがこんな一説を紹介しておく。

- 1、受容する心
- 2、共感する心
- 3、好意的な心
- 4、興味を示す心
- 5、肯定する心
- 6、優しい心
- 7、理解する心
- 8、ゆったりした心
- 9、誠実な心
- 10、先入観のない心
- 11、明るい心
- 12、公平な心
- 13、信頼の心
- 14、感謝の心

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

### Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

[>>一覧へ戻る](#)

傾聴

語り部スキル

🔍 キーワード検索はこちら

🔍 サイトマップ 🔍 このサイトについて 🔍 個人情報保護の取組みについて

🔍 ページTOPへ

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's広場

関連リンク

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト  
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.